



夏におすすめの本



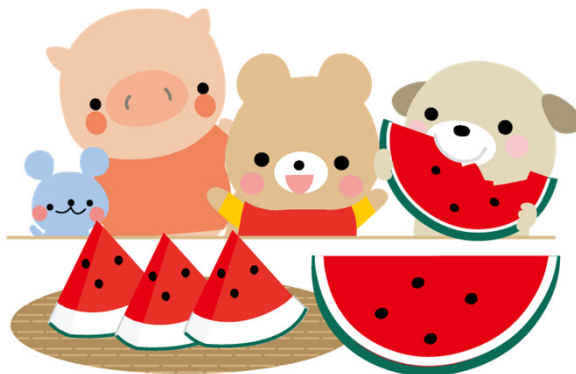
海へさがしに【福音館書店】

(作)デブラ・フレイジャー (訳)井上荒野

「海はね、願いをきいてくれるのよ。お願いしたら探してごらん」

あなたは、何を見つけましたか？

人間の行為が、大地と海にどれだけの影響を及ぼすかをも、知らせてくれます。



なつのいちにち【偕成社】

(作)はたこうしろう

「子どもの夏」を疑似体験。頭ではなく五感に直接迫ってきます。陽にジリジリ射られながら、セミの声に飛び込むように駆け抜けた先には...

待ってろよ、クワガタムシ!!

いつの間にか夏の真ん中に連れて行ってくれます。短いお話。

うみのいえのなつやすみ【偕成社】

(作)青山友美

夏休みの最初の日、なっちゃんは海水浴場で海の家をやっている、いとこのゆうくんのところに遊びに行くことに。二人は、波打ちぎわや海で楽しく遊んでいたけれど...

「これぞ、海水浴の楽しみ方！」というお話です。低学年向け。

しんちゃんのはなび【童心社】

(文)新沢としひこ (絵)あべ弘士

花火大会がうれしくてたまらないしんちゃんは大騒ぎ。ドーンと夜空に広がる大輪の花に大人も...

日本の夏の醍醐味ですね。

はちうえはぼくにまかせて

【ペンギン社】

(作)ジーン・ジオン

(絵)マーガレット・ブロイ・グレーム

(訳)もりひさし

夏休み、トミーは旅行にでかける近所の人たちの鉢植えを預かることにしました。上手な世話で、植物たちはどんどんおおきくなり、家の中はまるでジャングル。

トミーのアルバイトの「鉢植えの世話」の様子がユーモアたっぷりに描かれています。



ともだちやもんな、ぼくら【えほんの杜】

(作)くすのきしげのり (絵)福田岩緒

ラジオ体操の帰り道、カブトムシを見つけて木にのぼったぼくら。ところが、「こらあつ！何をやっとなるか!!」カ・カ・カミナリじいさんや!! 逃げ出したけど、友達がつかまってしまった...。「友達やもんな、ぼくら。そうや、ええ時だけの友達と違うしな」